

今日のトピック 米国のISM景況感指数(2015年5月) 景気、雇用ともに順調な拡大を示唆

ポイント1 製造業は前月から上昇

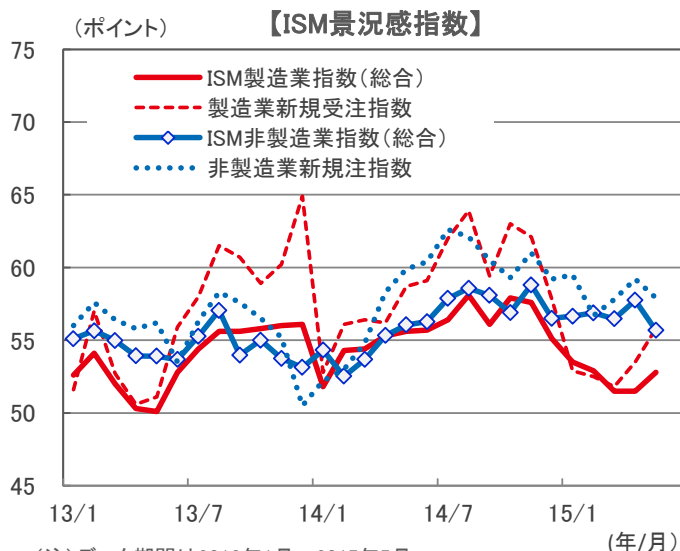
需要が力強く拡大

- 5月のISM製造業景況感指数は、総合指数が52.8ポイントとなり、市場予想の52.0ポイントを上回りました。前月の51.5ポイントからは1.3ポイントの上昇となります。総合指数を構成する5指標のうち、新規受注、雇用、入荷遅延、在庫の4指標が前月から上昇し、生産指数のみ低下しました。
- 新規受注指数と在庫指数の差をとると、4月の4.0ポイントから4.3ポイントへと小幅ながら拡大しました。需要の拡大に在庫の積み増しが追いつかなくなってきたことを示すものです。今後、増産の動きが強まると予想されます。

ポイント2 非製造業は反落

指数の水準は高い

- 5月のISM非製造業景況感指数は、総合指数が55.7ポイントとなりました。市場予想の57.0ポイントおよび前月の57.8ポイントをとともに下回りました。
- 内訳を見ると、指数を構成する事業活動、新規受注、入荷遅延、雇用の4指数が揃って前月から低下しました。ただし、水準は、いずれの指数も拡大・縮小の分岐点となる50を上回っています。非製造業の活動が順調に拡大していることを示しています。



【ISM景況感指数】

(ポイント)

	製造業			非製造業	
	5月	前月比		5月	前月比
総合	52.8	+1.3	総合	55.7	▲2.1
新規受注	55.8	+2.3	事業活動	59.5	▲2.1
生産	54.5	▲1.5	新規受注	57.9	▲1.3
雇用	51.7	+3.4	雇用	55.3	▲1.4
入荷遅延	50.7	+0.6	入荷遅延	50.0	▲3.5
在庫	51.5	+2.0	在庫	51.0	0.0

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 米国の景気、雇用は順調に拡大

- ISMの製造業と非製造業指数を経済の規模を基に合成した指数は、米国経済の活動状況を表していると考えられます。そこで総合指数と雇用指数を合成すると、5月はそれぞれ55.2、54.8ポイントとなりました。4月からはともに低下となりましたが、いずれも50台半ばの水準を維持しました。米

国の景気、雇用は順調に拡大していると考えられます。

- 米国では生産の増加が雇用・所得の拡大、消費の増加を促し、それが生産のさらなる拡大をもたらすという好循環が保たれています。景気の拡大はしばらく続くと判断してよさそうです。

ここも チェック!

2015年05月27日 ドル円相場の動向

2015年05月22日 「FOMCメンバー」の顔ぶれ

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。